

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表日	2024年3月31日	事業所名	ひばりキッズジュニア宮若たんぼぼ
-----	------------	------	------------------

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			規定よりも広く指導訓練室はスペースを確保しています。プレイルームでは運動トレーニング、音楽療法等行えるスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			基本の人員に加え加配職員を配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		一日のスケジュール等壁面に写真や絵カード等を用いて見える化しています。バリアフリー化してトイレ、出は入り口には手すりの設置をしています。	児童も使う室内の洗面所が高いため今後改善していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○		生活能力獲得のための支援として児童と清掃しております。	空気清浄機、加湿器等配備し床にはクッション性のあるマットを敷いて心地よく過ごせる環境になっています。又机上活動時は子ども達にあった机、椅子を使用しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートで頂いたご意見をもとに改善を行っています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で	○				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			年間スケジュール化し、専門委員会等を設置して職員研修を行っています。	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○				
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節の行事に関わる活動も取り入れるなどしています。児童の要望も取り入れながら楽しめる工夫をしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			口頭で振り返りを行う事もありますが、出勤していないスタッフにも伝達できるように記録にも残るようにしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		プログラム化は出来ていませんが、個別に児童の対応の方法を共有出来るように努めています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○				
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○				
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
非常時等の対応	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○				
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○				
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○				
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○				

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

事業所名	ひばりキッズジュニア宮若たんぼぼ
公表日	2024年3月31日

保護者等数／児童数	13／15
回答数 [割合 %]	13 [100.0%]

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	12	1				規定よりも広く指導訓練室はスペースを確保しています。プレイルームでは運動トレーニング、音楽療法等行えるスペースを確保しています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	11			2		少数の保護者様よりわからないという御意見を頂き、今後は保護者会の開催の際職員紹介（保有資格）等行っていきます。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10				3		一日のスケジュール等壁面に写真や絵カード等を用いて見える化しています。バリアフリー化してトイレ、出入り口には手すりの設置をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12				1		空気清浄機、加湿器等設備し床にはクッション性のあるマットを敷いて心地よく過ごせる環境になっています。又机上活動時は子ども達にあった机、椅子を使用しています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	13						半年に一度アセスメント・モニタリングを実施し放課後等デイサービス計画を作成し保護者様にご説明、同意を得ております。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11				2		児童発達支援管理責任者は、児童発達支援ガイドラインを熟知し児童発達支援計画、毎日のスケジュール、週間計画、月間計画、年間計画の中に支援内容を取り入れています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13						児童発達支援計画に沿って日々の支援を行っています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	10				3		運動トレーニング、ビジョントレーニング、視覚支援、コミュニケーション支援、自立支援、日常生活支援、ライフスキルトレーニング、音楽療法、戸外活動、お仕事体験等週間計画、月間計画のなかに取り入れプログラムが固定化しない様にしています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	3	1	4			地域の学校と地域の放課後等デイサービスでほっちゃん大会が開催され参加しました。コロナ禍以前は事業所で夏まつりの開催等行い地域の子どもの交流を行ってききましたが、コロナ禍では出来ませんでした。今後は交流する機会を増やしていきます。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	13						ご契約時に、ご説明し了承を得ております。変更が生じた場合、その都度お手紙等でご説明し了承を得ております。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	11				2		利用開始日、計画変更時にはガイドラインに基づき作成した児童発達支援計画をご説明、了承を得ております。
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	8			1	4		必要に応じグループ内にいる自閉症スペクトラム支援士が個別にペアレントトレーニング等の支援を行っている。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	13					普段どんな様子かをもっと聞きたいです	連絡帳や送迎時の保護者様とお話では伝えきれていないことがあることや、保護者様が聞きたいことと私共がお伝えしていることのずれがあると受け止めております。具体的にやり取りしてまいります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	11	1			1		コロナ禍以前は年に一度の保護者会、年に一度の個人面談等行ってきましたがコロナ禍は出来ていなかった為お電話等で支援してきました。今後は個人面談会を開催予定です。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	5	1	2	5			今までに何度か父母の会の立ち上げの御意見を頂きましたがコロナ禍で立ち消えになっています。早急に保護者会を開催し父母の会の検討をいたします。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	13						利用開始時、重要事項説明書の中で苦情対応体制をご説明いたしております。苦情があった場合はマニュアルの通りに迅速に対応しています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	12			1		毎日の連絡帳で保護者様との情報伝達等させて頂いています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	12	1				3ヶ月に一度会報を作成し保護者様にお配りし毎月、月間予定、給食メニューをお配りして活動概要、行事予定をお知らせしています。毎年アンケートをお配りしその結果をホームページに掲載しています。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	12			1		利用開始時個人情報取扱いについてご説明し同意を得ています。職員が入社時個人情報保護規定を説明、誓約書をとっています。退職後も規定を守る様説明しています。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	10			3		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、利用開始時重要事項説明書を説明する際保護者様に説明していますが説明が不十分であったかと思えます早急にご説明いたします。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	10			3		非常災害時対策マニュアル、業務継続計画を作成し対策委員会を社内に設置、研修等行っています。又年に2回防災訓練を行っています。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	10	1		2		通所している子ども達ほとんどが、事業所での活動を楽しみにしてくれています。今後も活動内容を工夫していきます。
	23 事業所の支援に満足している	13					社内研修等で満足頂けるような支援が出来る様職員のスキルアップに努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。